

令和4年度事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

2022 年度活動報告

2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

1) 特定非営利活動に係る事業

(1) 福祉・医療サービス人権相談事業

昨年度も毎週日曜日に電話相談を設けました。2022 年度は 48 回の相談日を設けました。

今年度対応した相談ケースとして、身体障害のある在宅生活者、介護支援専門員とのトラブルといったケースが寄せられました。コロナ禍にありましたが、必要に応じて対面による相談活動も行いました。

	主訴	対応	結果
身体障害のある在宅生活者からの相談	重度訪問介護を利用しているが、管理者との関係が悪い。県外から親族が帰ってくるとしばらくの間サービス利用が出来ず、清潔を保つことができない。	本人はセルフプランであったことから、サービス事業者と直接交渉をしないといけないことから多くのトラブルを抱えていた。そこで、相談支援事業所を利用することを提案する。  岡山市事業者指導課に、県外からの来報された親族がいた場合の訪問系サービスの取り扱いについて確認し、利用者に不利益が生じないように岡山市内の事業者徹底するように依頼する。	当法人が仲介して、本人担当の相談支援員を探す段取りをつけた。  セルフプランの在宅障害者が少なくないことがこの相談を通して認識された。  相談者が、岡山市に事業者名を伝えてほしくないとの要望であったため、岡山市に助言するまでの対応にとどまった。
身体障害のある在宅生活者からの相談	補装具費支給制度に関する相談。現在	上記相談者と同一であるため、本人担当の相談	当法人からも、当該相談支援員に助言を行う。

談	使っている車いすが経年劣化により、安全な使用に耐えられない。そこで新しい車いす利用をしたいが、身体障害者更生相談所の説明が分かりにくく、理解ができない。	支援員に相談することを勧める。	
身体障害のある在宅生活者からの相談	同居の介護家族が入院することになった。そこで、環境行政が自宅までゴミ収集にくる「可燃ごみ等のふれあい収集」を利用したいと思ったが、行政から利用できないと言われている。	岡山市の「可燃ごみ等のふれあい収集」の規則を環境行政に確認をする。本人にも行政への相談を促す。	環境行政側の働きかけもあり、「可燃ごみ等のふれあい収集」利用に至る準備が整った。
家族介護者（本人と別居）	介護支援専門員との関係が不良。親族を担当している介護支援専門員に相談しても応じてくれない。	過去に運営適正化委員会に相談したが、調停に至っていなかったため、その継続を依頼することを提案する。	後日、当法人からも運営適正化委員会に相談の継続を促す。
家族介護者（本人と同居）	親族を担当している介護支援専門員から、自分自身の情報が漏洩した。行政に調査を訴えたが断られた上に、親族の介護支援専門員も外された。	傾聴姿勢で相談者の話を聞く。	傾聴に徹した。本法人からの対応はない。

## (2) 調査研究事業

日本社会福祉学会 中国・四国地域ブロック第 53 回 岡山大会にて、本法人が行った実地指導に関する調査結果を発表した。

## (3) 人材育成事業

福祉に関わる話題をオンラインで話し合う「福祉オンブズカフェ」を前年度に引き続き開催、隔月で計 6 回行い延べ 73 人の参加をいただきました。女性相談所、子ども食堂、里親里子制度、障がい者、児童相談所など、毎回異なる話題を通じて意見や経験を交わし、幅広い分野の見識を深めていただく契機を提供できました。前年に掲げた「子どもの権利擁護」に関わるテーマを重点的に開催することができました(6 回のうち 4 回)

## (4) 情報公開事業

毎週の電話相談・隔月のカフェ・他イベントにつきホームページ/SNS(Facebook)にて開催と報告を継続発信しています。会報バックナンバーに加え、「介護保険法に基づく実地指導等の実態(担当者数、実施内容・件数)に関する調査(平成 12 年度から令和 2 年度)」(2020 年度調査研究事業)の結果報告書のダウンロード提供を開始しました。

## (5) 出版事業

2022 年度は実施しませんでした。

## (6) その他、法人の目的を達成するために必要な事業

「令和 4 年度岡山市人権啓発活動補助金」を獲得しました。この補助金は、2022 年度人権福祉講座に充てることができました。

## 2) その他の事業

### (1) 出前教室事業

当面の休止を継続しています。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
福祉・医療サービス人権相談事業	岡山県内の社会福祉サービス関係者から寄せられた人権問題に関する相談活動を行う。	毎週日曜日 10時～15時	事務所 (岡山市北区野田5・8・11)	7名	一般市民多数	28
調査研究事業	「介護保険法に基づく実地指導担当課職員の負担度に関する検討—A県内自治体における実地指導担当課の分類と課題の分析—」日本社会福祉学会 中国・四国地域ブロック第53回岡山大会にて発表	令和4年7月9日	ノートルダム清心女子大学 (岡山市北区伊福町2・16・9)	3名	学会参加者多数	0
人材育成事業	福祉オンブズカフェ 第5回オンライン福祉オンブズカフェ「障害者を取り巻く環境で気になること」間島正泰さん(社会福祉士) 第6回福祉オンブズカフェ「困った時はおたがいさま・拾い残された若者の支援から考える」滝川 忍さん(ハンドシェイクプロジェクト) 第7回福祉オンブズカフェ「児童相談所の現場でいろいろなモヤモヤ」石原正巳さん(社会福祉士) 第8回福祉オンブズカフェ「里親・里子ってどんなもの？」河田布香さん(弁護士)	令和4年5月28日  令和4年7月23日  令和4年9月24日  令和4年11月26日	オンライン  オンライン  オンライン  オンライン	5名  5名  5名	一般市民 延73名	42

	<p>第9回福祉オンブズカフェ「みんなで作る子ども食堂」竹永光恵さん+増田勢津子さん（さいさい子ども食堂サポーター）</p> <p>第10回福祉オンブズカフェ「女性相談所の経験から」片山恵子さん（元女性相談所）</p> <p>第9回定時総会／記念講演「新・人間裁判 生活保護引下違憲訴訟から 生活保護制度を考える」則武透さん（弁護士）</p> <p>2022年度人権福祉講座「生活保護世帯の若者の自立を考える・世帯分離と進学の問題を例に」関藤香代子さん（岡山生活と健康を守る会）、森岡佑貴さん（弁護士）</p>	<p>令和5年1月28日</p> <p>令和5年3月25日</p> <p>令和4年5月29日</p> <p>令和5年2月5日</p>	<p>オンライン</p> <p>オンライン</p> <p>オンライン</p> <p>ゆうあいセンター研修室 （岡山市北区南方二丁目13-1）</p>	<p>5名</p> <p>5名</p> <p>7名</p> <p>7名</p>	<p>一般市民20名</p> <p>一般市民13名</p>	
情報公開事業	当法人の活動を随時、ホームページおよびFacebookにて情報公開を行った。	随時	事務所 （岡山市北区野田5-8-11）	1名	一般市民多数	2
出版事業	過去の当法人が開催した「福祉オンブズ相談員養成講座」の内容をまとめる予定であったが当該年度は、実施せず。	—	—	—	—	0

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	支出額(千 円)
出前教室事業	当法人の役員らの技能を他団体の学習に貢献する出前事業を検討していたが、当該年度は、実施せず。	—	—	—	—

法人名： 特定非営利活動法人福祉オンブズおかやま

## 活動計算書

2022年 4月 1日 ～ 2023年 3月 31日 まで

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	270,000	270,000
2. 受取助成金等		
受取地方公共団体補助金	18,937	18,937
3. 事業収益		
人材育成事業収益	6,500	6,500
4. その他収益		
受取利息	1	1
経常収益計		295,438
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
広告宣伝費	2,944	
印刷製本費	11,200	
通信運搬費	31,914	
謝礼金	25,000	
賃借料	2,940	
雑費	495	
その他経費計	74,493	
事業費計		74,493
2. 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
印刷製本費	16,000	
通信運搬費	37,513	
消耗品費	867	
雑費	995	
その他経費計	55,375	
管理費計		55,375
経常費用計		129,868
当期正味財産増減額		165,570
前期繰越正味財産額		386,204
次期繰越正味財産額		551,774

法人名： 特定非営利活動法人福祉オンブズおかやま

### 貸借対照表

2023年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	543,208		
未収金	18,937		
流動資産合計		562,145	
2. 固定資産			
有形固定資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			562,145
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金	0		
未払金	10,371		
流動負債合計		10,371	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			10,371
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		386,204	
当期正味財産増減額		165,570	
正味財産合計			551,774
負債及び正味財産合計			562,145



## 財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	人権相談事業費	調査研究事業	人材育成事業費	情報公開事業費	事業費計
(1) 人件費					
人件費計	0	0	0	0	0
(2) その他経費					
広告宣伝費				2,944	2,944
印刷製本費			11,200		11,200
通信運搬費	28,806		3,108		31,914
諸謝金			25,000		25,000
賃借料			2,940		2,940
雑費			495		495
その他経費計	28,806	0	42,743	2,944	74,493
合 計	28,806	0	42,743	2,944	74,493

3. 使途等が制約された寄付金等の内訳

使途が制約された寄付金等はありません。当法人の正味財産は562,145円ですが、そのうち使途が制約された財産はありません。

法人名： 特定非営利活動法人福祉オンブズおかやま

## 財産目録

2023年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	1,700		
ゆうちょ銀行	89,613		
広島貯金事務センター	451,895		
ろうきん	0		
未収金			
岡山市 補助金	18,937		
流動資産合計		562,145	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			562,145
II 負債の部			
1. 流動負債			
短期借入金			
未払金			
NTTファイナンス 電話料2・3月分	2,400		
NTTドコモ 電話料3月分	5,415		
切手代	2,556		
流動負債合計		10,371	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			10,371
正味財産			551,774

## 前事業年度の年間役員名簿

(令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月 31日)

特定非営利活動法人 福祉オンブズおかやま

No.	役職名	氏 名	住 所 又 は 居 所	就 任 期 間	報 酬 を 受 け た 期 間
1	理事長	高崎和美		令和4年4月1日～ 同 5年3月31日	報酬無し
2	副理事長	藤井宏明		令和4年4月1日～ 同 5年3月31日	報酬無し
3	理事	呉 裕麻		令和4年4月1日～ 同 5年3月31日	報酬無し
4	同	神崎希望		令和4年4月1日～ 同 5年3月31日	報酬無し
5	同	猶原真弓		令和4年4月1日～ 同 5年3月31日	報酬無し
6	同	藤本統久		令和4年4月1日～ 同 5年3月31日	報酬無し
7	監 事	今岡清廣		令和4年4月1日～ 同 5年3月31日	報酬無し
	同	梶原行正		令和4年4月1日～ 同 5年3月31日	報酬無し

### 【備考】

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
- 2 「役職名」の欄には、理事、監事又は理事の職名を定めている場合はその職名の別を記載する。
- 3 「住所又は居所」の欄には、各役員住所又は居所を証する書類の記載どおりに記載する。
- 4 「就任期間」の欄には、左に記載された役員全員についてそれぞれ記載し、「報酬を受けた期間」の欄については、報酬を受けたことがある役員はその期間を、報酬を受けなかった役員については「報酬無し」とそれぞれ記載する。